

令和4年度 第2回 富秋中学校区等まちづくり検討会議

日 時：令和4年11月9日（水） 19：00～21：00

会 場：和泉市立人権文化センター3階 会議室

次 第

1. 開会
2. アドバイザリー業務概要・今後のスケジュールについて
3. これまでの検討と今後の進め方について
4. 学校開校準備委員会の開催報告について
5. 閉会

業務の進捗状況と 今後の進め方について

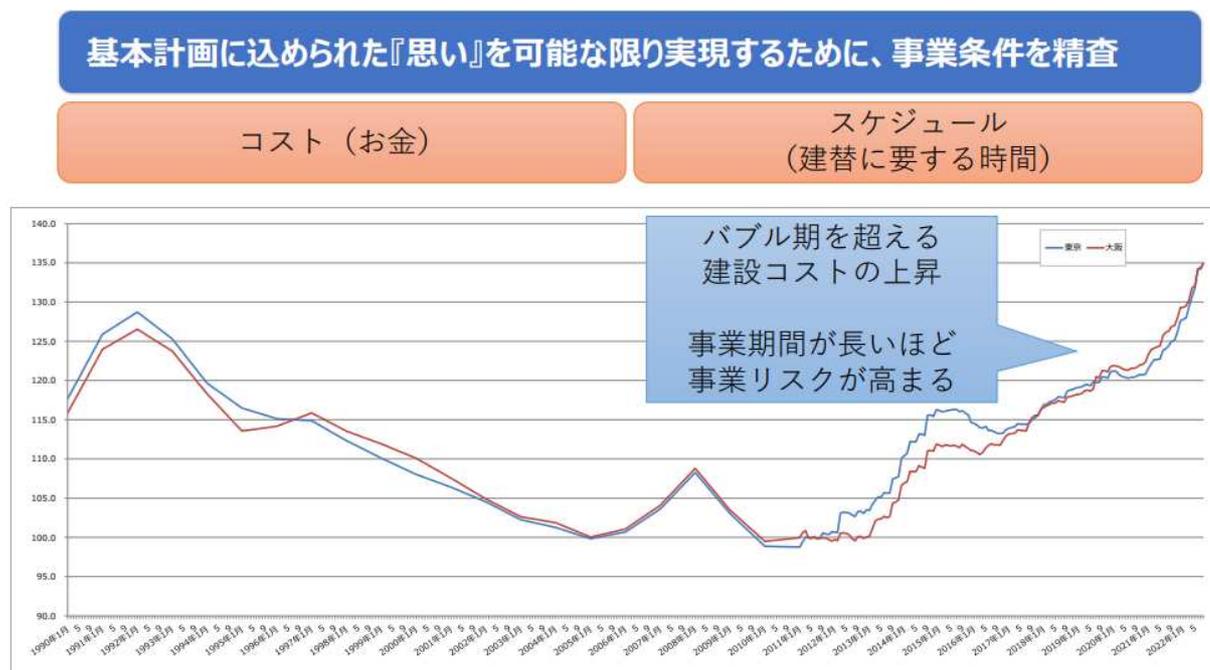
1. 民間事業者への事前サウンディング調査について

(1) 目的

- ・本事業に少しでも多くの民間事業者が参加することで、それぞれの民間事業者のもつノウハウを発揮することにより競争性が働き、より良い施設整備やコスト縮減に期待ができる。そのために、基本計画をもとに、より多くの民間事業者の参加を促すための事業条件の設定について事前サウンディング調査を実施。

(2) 民間事業者の意見

- ・直近の物価上昇による建設コストの高騰の状況も踏まえ、1期から3期の約8年に渡る長期の事業期間は民間事業者にとって非常にリスクが高く、本事業への参画への大きなハードルとなる。
- ・整備計画(施設配置等)に民間事業者の発想を提案できる柔軟性が必要。



包括発注方式（PFI等）で実施する場合のメリット

- 提案の加点項目（市、住民等の希望・ニーズ）を明示することで、民間各社が競争し、より良い提案を引き出す
 - ✓ 工期短縮（少しでも早く工事が終わる）
 - ✓ 工事期間中の騒音、振動、粉塵等の周辺住環境への影響低減
 - ✓ 魅力的な居住環境を備えた住戸プランの提案
 - ✓ 住棟配置の工夫による地域交流空間の形成
 - ✓ 近隣住環境への配慮（プライバシー等）



基本計画通り100%へのこだわり → 民活不可の可能性も...

1社入札
入札不調

- 提案条件が、事業者にとって厳しくなり過ぎると、提案者が減少（ゼロ（入札不調も））

● 複数社が応札できる提案条件のバランスが重要

- 基本計画内容の重みづけ・分類が必要
（必須要件（違反は失格）／任意要件（加点点評価で良い提案を選定））

2. 事前サウンディング調査の結果をうけての課題整理

（1）事業期間を短縮にむけての検討

- ・ よりよい民間事業者からの提案を得るために、事前サウンディング調査での民間事業者の長期の事業期間についての課題解決にむけて、1・2期で完了する整備計画の可能性も検討している。

（2）1・2期での整備計画の条件について

- ・ 1・2期での整備計画を完了するために、現在の基本計画においては、市営住宅の高さの想定を「7～9階建」としているところを「7～10階建（※現在の和泉第一団地1棟程度の高さ）」と緩和することで、現在の旭公園と和泉第一団地敷地に市営住宅550戸及び（仮称）多世代交流拠点施設を1・2期で整備することができる可能性もでてきた。その場合、民間事業者の参画意欲の向上や事業期間の短縮による移転時期の早期化等のメリットが期待できる。今後、これらの詳細な計画条件のメリット・デメリットの整理と実現性の精査を行う必要があると考える。

市営住宅1～2期工事（6年）で550戸整備案

市営住宅建設完了時期	令和12年度中
高さ（階数）	7～10階建て程度
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 最後の入居者の移転が早くなる（最大2年程度） 今回、整備する全ての市営住宅を同一敷地内に配置することで、地域コミュニティの活性化が期待できる 発生する余剰地に公共施設、にぎわい創出施設の誘致を検討できる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画案と比較して高層となる



市営住宅1～3期工事（8年）で550戸整備案

市営住宅建設完了時期	令和14年度中
高さ（階数）	7～9階建て程度
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画案どおりの移転スケジュール 建替え対象外の市営住宅とのつながりのある配置となる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 整備するエリアが道路で分断されるため、地域コミュニティの形成に課題



ミライの学校を創るプロジェクト News No.10

6月16日(木)に第5回学校開校準備委員会を開催し、「校名案の決定」について報告を行い、「3校交流」や「コミュニティ・スクール」について、説明・意見交換を行いました。

■ 校名案の決定について



新校の校名案は

「富秋学園」に決定しました!

校名の正式決定には、条例の一部改正が必要です。市議会での議決を得るまでの間は「(仮称)富秋学園」として対応を行います。

- 令和3年に校名募集を行い、139件(80案)の応募がありました。
- 校名案の検討については、応募内容をもとに令和3年に開催した第3回・第4回の学校開校準備委員会で意見交換を行いました。

● 意見交換での主な意見

- ・親しみやすさやわかりやすさが大切
- ・「富秋」を継承していくことが大切
- ・「富秋」は、これまでの歴史のなかで、定着・浸透している名称である
- ・慣れ親しんだ、今の学校の名前が無くなってしまうのは、寂しさを感じる
- ・全く新しい校名にして、新しいイメージを作っていくのも一つの考え方 等

- 学校開校準備委員会で、校名案を「富秋学園」とすることで意見がまとまったことを踏まえ、教育委員会で校名案を決定しました。

■ 3校交流について

富秋中学校区では、3校が1つの学校になることを見据え、これまで以上に様々な取組みを行っています!当日は、校長先生から現在の取組みについて説明していただきました。

■ 現在の主な取組み

幸小・池上小学年交流会



富仲祭への小学生招待

児童会・生徒会交流会



小6体験授業

3校支援学級交流会



あいさつ運動



市で統一の「わくわく研修日」を活用し、3校の教員が授業研究をはじめ、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）開校に向けた様々な話し合いを行っています。



富秋中学校区では、児童生徒や教員の交流等すでに様々な取り組みを行っており、ブックフェスタやITS咲かせ隊の取り組み等、地域とともに実施している活動もたくさんあります。開校に向けて、取り組みの継承やさらなる充実を図っていきます！

■コミュニティ・スクールについて

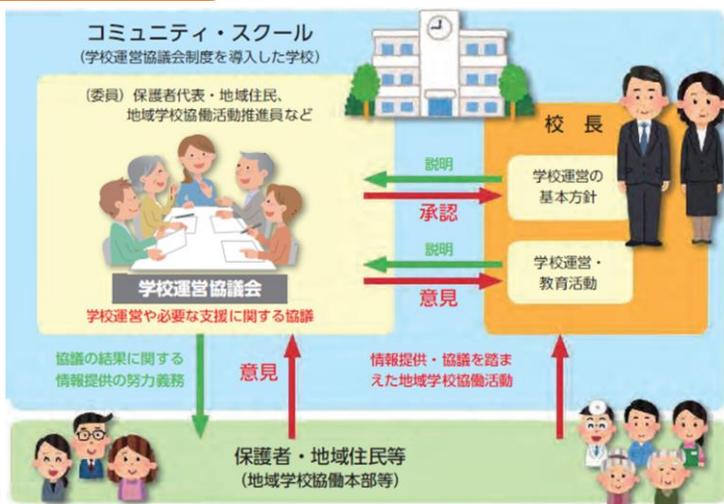
コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者などがこれまで以上に一体となって、学校運営や子どもたちの育みについて話し合い、主体的に学校運営を担う制度を導入した学校のことです。

（仮称）富秋学園においても導入を想定しており、今回は制度内容や、すでにコミュニティ・スクールを導入している南松尾はつが野学園の取り組みの事例などを紹介しました。

（南松尾はつが野学園 取り組み事例）



地域の消防団や保育園等と一体で避難訓練を実施



「みなはつピンクシャツデー」として、教職員、保護者、地域など参加者が全員、いじめを許さないという意思表示として、ピンク色のものを身に着けるという取り組みを実施

■当日のグループ交流での意見（コミュニティ・スクール）

- ・学校協議員制度や地域教育協議会との違いを詳しく知りたい
- ・現在も様々な取り組みを行っているため、メンバーをどうするかが重要
- ・富秋中学校区での実施はいつごろ？ → モデル実施を行いながら、今後本格実施を予定しています

（その他）

- ・コロナによって児童生徒と地域との交流の機会が減っているので、元に戻していきたい
- ・新校の開校に向けては、PTAのあり方も整理していかなければいけない

次回は、校舎整備や通学路について、取り扱っていく予定です。

ニュースレターをメール配信中！

ニュースレターの配信を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



ミライの学校を創るプロジェクト News No.11

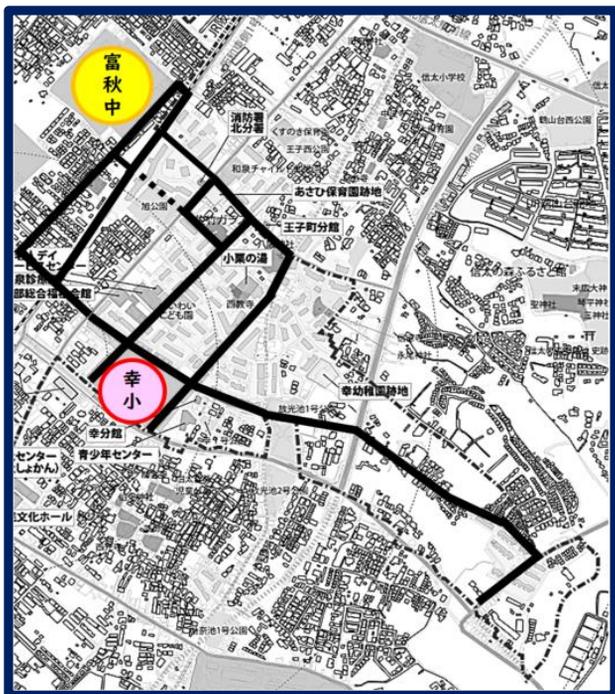
8月2日(火)に第6回学校開校準備委員会を開催し、「通学路」や「校舎整備」について説明・意見交換を行いました。

通学路について

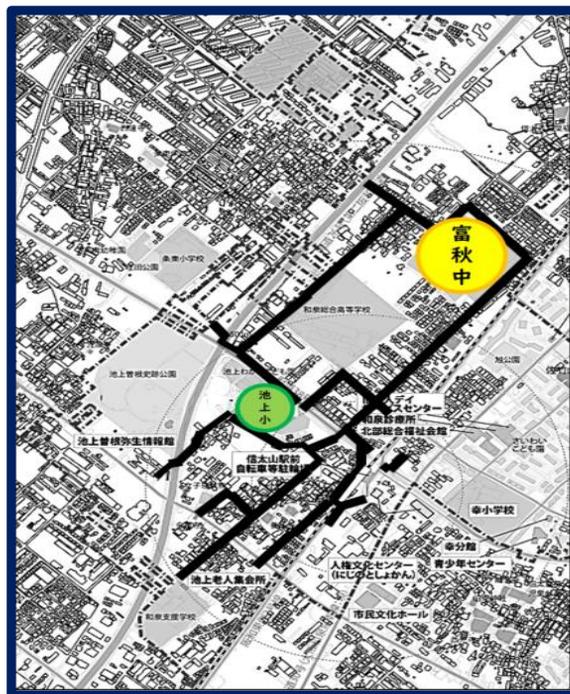
○通学路の安全対策に関する説明や幸校区、池上校区、葛の葉町からの通学路の想定について説明を行いました。

【各校区等における通学路の想定】

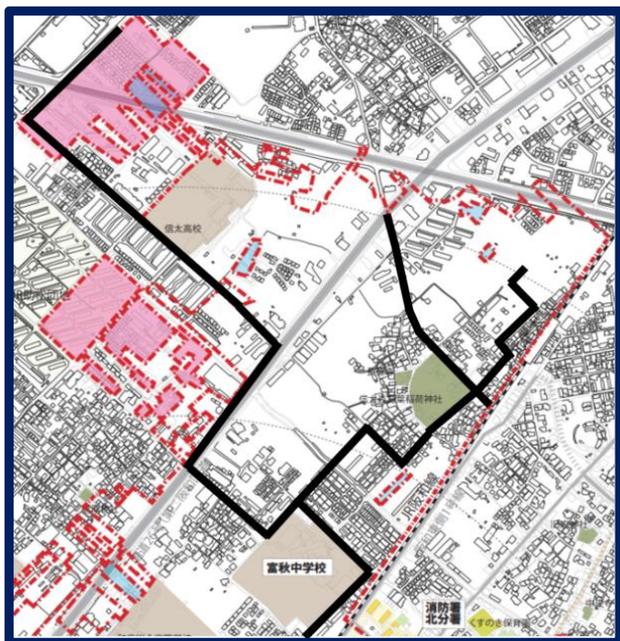
①幸小学校区から(仮称)富秋学園へ



②池上小学校区から(仮称)富秋学園へ



③葛の葉町から(仮称)富秋学園へ



※(仮称)富秋学園の就学区域は、現在の富秋中学校と同じとなります。

今後の進め方

- 通学路については、3校の統合により新しく通学路となる部分があります。
- 秋頃に、新たに通学路となる部分を中心にまち歩きを実施し、危険箇所の確認等を行い、対策について検討を進めていきます。

校舎整備について

○地域開放している図書館や広場の事例を紹介したうえで、必要な機能や活用方法等について意見交換を行いました。

■図書館の事例

【靴脱ぎスペース】



【読み聞かせスペース】



【自習スペース】



（当日の意見）

- ・児童生徒が使いやすいことが最優先
- ・自習スペースが必要
- ・子ども用の書棚があれば良い
- ・高齢者も立ち寄りやすい仕様
- ・机や椅子は可動式が使いやすい
- ・読み聞かせができるスペースが必要
- ・映像学習ができるスペースがあれば良い
- ・就学前の子どもたちも使いやすい仕様
- ・Wi-Fi環境の整備が必要
- ・セキュリティの確保が重要 等

■広場の事例

【発表活動の場】



【芝生広場】



【校内菜園】



（当日の意見）

- ・芝生広場のようなスペースは多用途に活用できる
- ・発表やイベントができるスペースがあれば、地域との交流にも活用できる
- ・校内菜園は地域との交流の場になると考えられる
- ・現在も学校内で実施しているグランドゴルフができるスペースがあれば良い
- ・色々なものを詰め込むのではなくてシンプルな使い方が良い
- ・学校の先生の負担にならない形が良い
- ・フェンスや死角のないつくりなど、セキュリティの確保が重要 等

〈次回の開催について〉

次回の開催では、引き続き「校舎整備」に関する内容を中心に意見交換等を実施します。

ニュースレターをメール配信中！

ニュースレターの配信を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

